

事業所名		ハッピーテラス柏教室		公表日		2025年1月31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動に応じて指導訓練室等のレイアウトを変更し、活動のスペースを確保するようにしております。	引き続き、お子さまが狭いと感じないような環境づくりを徹底してまいります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令に則り、人員配置基準を満たしております。	配置数は十分揃えておりますが、女性職員が少ない状態にあるため、必要に応じて同法人内の応援体制を整えてまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		お子さまに必要な配慮について、事前に保護者の方に確認を取り、配慮を行っております。	建物の構造上、十分なバリアフリーになっていない箇所があります。事業所で管理できる範囲は、お子さまが安心して過ごせるような環境を整えてまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		心地よく過ごせる環境にするために、毎日の清掃や空気清浄機の設置などを行っております。	空調機内部清掃は、定期的な実施はできていない状況です。吹き出し口などの定期清掃を心掛けてまいります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて、個室の利用やパーティションで区切った空間を使用できる環境を整えております。	引き続き、必要に応じた環境を整えてまいります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		全職員が半期ごとにKPIを設定し、定期的な振り返りを行っております。	引き続き、PDCAサイクルを回し、業務改善に努めてまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年2回、事業所作成の保護者アンケートを実施し、その結果を踏まえて事業所運営の質の向上に努めております。	頂いたご意見を基に業務改善を図っておりますが、対応への周知ができていないことがあります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月の職員会議や1on1面談など、意見を発信できる機会を設け、業務改善に努めております。	引き続き、意見等を把握する機会を設け、業務改善に努めてまいります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現状、実施はしておりませんが、同法人の東京都の事業所に関しての意見を窺う機会はあるため、自事業所に照らし合わせて考える形で補っております。	千葉県の実業所を対象とする外部評価の実施予定はありません。引き続き、左記の対応を行いながら、業務改善に努めてまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内での研修に、職員の関心や役割に応じた参加機会を提供し、その場で学んだ内容に関しては、他の職員に向けて伝達する機会を設けて学びが全員に浸透するよう努めております。	教室運営の関係上、全員の参加は難しいですが、左記の対応で補っている状況です。外部研修を、より広く受講していきけるようにしていく事が今後の課題であると感じております。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	支援プログラムを作成し、プログラムに合わせて実施しております。現時点では公表はできておりませんが、今年度中に公表予定です。	公表ができていない状態の為、今年度中に必ず公表・周知してまいります。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者との定期的な面談や職員間での話し合いを通じて、ニーズや課題を把握し、それに基づいて計画を作成しております。	目標の基準が高すぎる、もしくは低すぎると気が付いた場合には、スモールステップを意識してより適切な目標設定ができるよう努めてまいります。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		作成する際には、児童発達支援管理責任者のみでなく、必ず複数の職員参加のもと意見を出し合い、お子さまの最善の利益を考慮しております。	シフトや異動などの理由で指導員全員が会議に参加できない場合がございます。その際も、共通理解を徹底してまいります。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間に共有され、利用目的や支援課題に沿った支援を行っております。	今後もお子さまの最善の利益を考慮した検討ができるように努めてまいります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ニーズに応じて、公的な発達検査や知能検査を用いながら、アセスメントの一助として、個別支援計画を作成しております。	特に発達検査に関しては、一定の期間を置いて繰り返しの実施が推奨されるため、支援内容の効果測定も兼ねて定期的な実施できる仕組み作りに努めます。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援に必要な項目について、定期的に保護者・利用者様のご意見を確認し、支援内容を設定しております。	本人支援が主となっており、直接的な家族支援に関しては、本人支援の延長線上という間接的な形で設定せざるを得ない点が現状、課題であるように感じております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		週間テーマやトレーニングの立案を職員間で話し合って組み立てております。	引き続き、チームで話し合う時間を確保できるように、業務管理を行ってまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		就労準備コースとプログラミングコース、ともにプログラムが固定化されないよう年間計画を立てております。随時お子さまに合わせて内容を調整しております。	引き続き、アンケートでいただいたご意見を踏まえ、プログラムを展開いたします。お子さまがバラエティ豊かなトレーニングを受けられるような環境を整えてまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ支援が提供できる環境を整えております。	個別活動に関して、曜日や時間に制限があり枠数が決まっているため、要望に応じて、時期により枠の増減などの調整を行ってまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しております。	お子さまの状態を受けて臨機応変な対応が求められ、入社歴の浅い職員が判断に迷う場面がありますが、職員間で迅速に対応できるように努めております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りや、こどもの変化などの共有を行っております。	引き続き、支援の質の向上や情報共有の徹底に努めてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		社内システムを活用し、日々の支援に関して記録をとることを徹底しております。個別支援計画検討会議の際も参考にし、支援の改善に努めております。	記録の内容に個人差が生じることや、業務の都合でその日のうちに記録を取ることが難しいことなどが、現状の課題だと感じております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを実施し、放課後等デイサービス支援計画に基づく状況の確認を行っております。	見直しの際に、目標設定の段階を調整することがあります。お子さまの現状に合った段階の目標を設定できるように努めてまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		複数の要素を組み合わせた活動内容や、コマごとに別々の内容を構成するなどして努めております。	引き続き、4つの基本活動を組み合わせた支援を行ってまいります。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		ある程度自由度の高い活動内容の他、来所児童同士で話し合って活動内容を決定する、などの機会も提供しております。	引き続き、活動プログラム内に自己決定をする力を育てるための支援を組み込んでまいります。	
関係機関や保護者との	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		対象のお子さまに合わせて児童発達支援管理責任者や担当の職員が出席しております。	引き続き、状況に応じて最もふさわしい職員が参画し、関係機関との連携を密に支援をしてまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて、協力医療機関をはじめ、相談支援事業所や地域の他事業所とも連携しながら、日々の支援に取り組んでおります。	引き続き、関係機関と連携して支援を行う体制を整えてまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		状況に合わせて、関係機関への情報共有や学校訪問を行っております。	連絡調整に時間を要する場合がありますが、迅速に情報共有できるように努めてまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて情報共有を行っております。同法人内の児童発達支援事業所の利用者については、保護者様の同意を得た上で情報共有を行っております。	現状、中高生や小学生中学年以上の利用者様が多く、就学前の関係機関との連携やその要望が少ない状況です。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		保護者様や利用者様の要望に応じて、必要な情報提供を行っております。	引き続き、必要に応じて情報提供を行ってまいります。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		現状、設けておりません。	児童発達支援センターから研修等の案内が来た際には、職員の参加しやすい環境を整えてまいります。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		アンケートにて、定期的に要望を確認しておりますが、現状は希望は無いため、行っておりません。	引き続き、要望を定期的に確認し、要望が増えた際には、検討してまいります。	

連携	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		柏市の自立支援協議会の子ども部会へ参加し、職員間への共有に努めております。その他、県の研修等の参加しております。	引き続き、参加してまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の電話連絡、トレーニング終了後のフィードバック、定期面談の時間に保護者の方と情報共有を行い、共通理解に努めております。	保護者様による送迎が不要なお子さまについては、情報共有の機会が少なくなることがあります。そのため、電話連絡などを通じて、気になる点があった際には、迅速に保護者様と情報共有できる環境を整えてまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		送迎時や保護者面談時に、教室内での対応方法をお伝えし、家庭内での療育等につなげられるよう支援方法をお伝えしております。毎月送付している郵送物やHP上でお子さまの支援に役立つ情報を発信しております。	ご要望に応じて必要な情報をすぐに提供できるように、職員一同日々精進しております。勉強会等の開催検討にあたり、アンケート等を通じて定期的に要望の確認をしております。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		必ず体験時や契約時に書類で用意し、書面に沿って説明を行っております。	児童発達支援管理責任者を中心に説明しておりますが、それ以外の職員でも説明できるよう、共有を図ってまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		こどもや保護者の意向を確認し、個別支援計画に反映しております。	引き続き、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、意向を確認する機会を設けてまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		契約前には、トレーニングの体験に参加して頂き、同時に支援内容の説明を行っております。必ず同意を得た内容を提供しております。	引き続き、放課後等デイサービス計画に基づき説明を行ってまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者の方からの相談に対し、随時助言や支援を行わせて頂いております。より適切な支援を行う為に、相談内容によっては弊社の資格保有者と連携するなどして、より適切な対応に努めております。	家庭や事業所での様子を共有し、悩みなどの相談がしやすい環境設定を整えてまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		定期アンケートの結果を踏まえ、保護者会やきょうだい同士の交流の機会を設けておりませんが、進路説明会を開催し、保護者同士が情報共有できる場を提供しております。	引き続き、皆さまのご要望を確認し、必要に応じて機会を設けることを検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情窓口を設置し、対応にあたっております。また、必要に応じて社内の運営管理室と連携し、事業所内での情報共有を徹底しております。	事業所内で苦情申し立て発生時のフローが存在しており、都度共有することで、より迅速に対応ができる環境を整えてまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的にHPや郵送物で、活動概要や連絡体制等の情報を発信しております。今年度よりHP更新頻度を増やし、より迅速に情報提供を行っております。	HPの更新頻度は多くない為、活動概要がよりわかりやすいような内容を掲載するように努めてまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		社内にて個人情報に関する研修を行っております。マニュアルを作成し、それに基づく情報管理を徹底しております。個人情報を含む書類の管理は、鍵付きの書庫で保管しております。	個人情報を含む書類作業を行う際には、作業終了後に速やかに書類を書庫へ保管することを徹底してまいります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		保護者の方やお子さまと相談しながら、情報伝達のしやすい方法を検討し、実施させて頂いております。	情報伝達等に関する配慮が必要と判断した際には、迅速に対応できるよう引き続き努めてまいります。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域住民の招待は行っておりませんが、同法人内で他事業所のお子さまを招いてイベントを行っております。	皆さまのご要望を確認し、必要に応じて機会を増やしてまいります。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを策定し、廊下や事務室に掲示しております。関連した社内研修を定期的に実施しております。	マニュアルに関してご質問があった際に、より丁寧に対応ができる体制を作っております。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し、非常災害の発生に備えて総合訓練を実施しております。また、防災訓練は消防署に連絡のうえ、お子さまを含めて年2回実施しております。	引き続き、非常災害に対する総合的な研修や訓練の実施を継続してまいります。

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	○	毎年提出頂いている緊急連絡票を用いて、服薬等のこどもの状態を確認しております。	引き続き、こどもの状態の把握に努め、期中の変化に関しても情報共有を徹底してまいります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	毎年提出頂いている緊急連絡票を用いて、食物アレルギー等を確認しております。必要に応じて、活動内容の変更を行っております。	引き続き、こどもの状態の把握に努め、期中の変化に関しても情報共有を徹底してまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画を作成し、必要な研修等を実施しております。また、日頃から安全管理を徹底するように努めております。	引き続き、安全計画に則り、安全管理を徹底してまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	取り組み内容についてHPや郵送物等で周知を行っております。	引き続き、周知を継続してまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハット事例を年度ごとにまとめ、分析結果を事例集として共有しております。また、弊社の他事業所での事例も共有し、より多くの事例をもとに対策の検討ができる体制を整えております。	ヒヤリハットへの意識が薄れ、共有が漏れることがないよう、終礼時に職員間で振り返りを行い、小さな気づきも共有し合う機会を設けてまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	虐待防止委員会を設置し、定期的に研修の実施を行い、虐待防止チェックリストを作成しております。	引き続き、虐待防止に努めるため、日頃から職員間で言動を見直し、適切な対応を心掛けてまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	定期的な研修を実施し、身体拘束が必要な場面については、組織としての基準を定めております。やむを得ず身体拘束を行う場合は、事前にお子さまや保護者様に説明を行い、同意を得た上で個別支援計画に記載しております。	現在該当者はいませんが、該当する方がご利用する際には、より迅速に対応できるように努めてまいります。